



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安楽亭

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 安部 一夫

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,705	△0.4	400	8.7	388	65.4	231	△29.1
27年3月期第2四半期	8,745	△0.5	368	26.6	234	△8.6	326	123.3

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 232百万円 (△29.2%) 27年3月期第2四半期 328百万円 (129.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	10.80	—
27年3月期第2四半期	15.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,679	6,007	43.9
27年3月期	14,080	5,775	41.0

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 6,007百万円 27年3月期 5,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,250	△0.1	550	△3.7	520	22.6	360	△4.0	16.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	21,504,347 株	27年3月期	21,504,347 株
28年3月期2Q	115,616 株	27年3月期	115,137 株
28年3月期2Q	21,388,884 株	27年3月期2Q	21,391,108 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成27年11月17日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による景気対策を背景とした企業収益改善や雇用情勢の改善がみられるものの、個人消費の回復は依然として弱く、また中国をはじめとした海外経済の減速等、先行きの見通しは不透明な状況となっております。

外食市場は、原材料価格の高騰及び人手不足のトレンドが続いていることもあり、依然として厳しい競争状態にあります。

このような状況の下、当社グループは経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様のご要望に合う魅力あふれる「安全・安心」に配慮した商品の提供に加え、おもてなしの心を込めたサービスの提供に努めてまいりました。

また、成長戦略を実現するために、既存店舗の大規模改装に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高87億5百万円（対前年同期比0.4%減）、営業利益4億円（対前年同期比8.7%増）、経常利益3億88百万円（対前年同期比65.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億31百万円（対前年同期比29.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は195店舗であります。内訳は直営156店舗、暖簾6店舗、F C 33店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「がぶりっ！BBQフェア」、「お父さんありがとうフェア」、「アイルー村のご馳走フェア」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアや「ヨーグルトのセミフレッド」等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は74億94百万円（対前年同期比0.5%増）となり、セグメント利益（営業利益）は5億79百万円（対前年同期比8.2%増）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は23店舗であります。内訳は直営21店舗、F C 2店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「黒毛和牛 稀少部位食べ比べフェア」、「行楽焼肉フェア」、「ホルモン食べ比べ祭」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアや「台湾かき氷」等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は10億45百万円（対前年同期比2.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は1億5百万円（対前年同期比17.3%減）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は10店舗であります。内訳は直営3店舗、暖簾1店舗、F C 6店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「和牛カルビ屋（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「龍饗（中華）」、「AGRICOCO（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は1億66百万円（対前年同期比24.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は10百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ4億円減少し、136億79百万円となりました。これは、借入金の返済等による現金及び預金の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ6億32百万円減少し、76億72百万円となりました。これは、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ2億32百万円増加し、60億7百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、2億41百万円減少し、19億14百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上3億70百万円、法人税等の支払額1億56百万円等により2億43百万円の収入となりました。前年同期と比べ1億9百万円(対前年同期比80.9%)の収入の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入2億円、敷金及び保証金の回収による収入48百万円、有形固定資産の取得による支出2億96百万円等により66百万円の支出となりました。前年同期は56百万円の収入でありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入2億66百万円、長期借入金の返済による支出5億44百万円等により4億18百万円の支出となりました。前年同期と比べ9億26百万円(対前年同期比68.9%)の支出の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,356,412	1,915,256
受取手形及び売掛金	336,222	301,144
商品及び製品	134,071	142,165
仕掛品	1,235	678
原材料及び貯蔵品	560,924	535,255
前払費用	198,917	201,237
繰延税金資産	86,055	76,303
その他	47,250	64,597
流動資産合計	3,721,089	3,236,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,128,890	2,246,135
機械装置及び運搬具(純額)	39,872	57,259
工具、器具及び備品(純額)	155,286	160,598
土地	4,984,367	4,984,367
リース資産(純額)	155,636	157,757
建設仮勘定	—	8,549
有形固定資産合計	7,464,053	7,614,668
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	96,951	98,742
長期貸付金	826,480	812,192
長期前払費用	23,057	20,625
繰延税金資産	76,793	72,155
敷金及び保証金	2,453,313	2,400,270
その他	51,411	48,825
貸倒引当金	△735,280	△734,922
投資その他の資産合計	2,792,725	2,717,888
固定資産合計	10,359,733	10,443,288
資産合計	14,080,823	13,679,928

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	497,604	467,987
短期借入金	862,172	519,420
リース債務	47,067	49,501
割賦未払金	77,080	80,396
未払金	231,306	229,896
設備関係未払金	25,207	46,183
未払費用	479,018	459,762
未払法人税等	180,892	166,472
未払消費税等	212,562	102,135
賞与引当金	85,450	87,590
転貸損失引当金	13,297	7,537
その他	464,370	367,065
流動負債合計	3,176,029	2,583,949
固定負債		
長期借入金	4,115,000	4,099,166
リース債務	126,910	125,204
長期割賦未払金	206,738	182,653
繰延税金負債	119,293	109,266
役員退職慰労引当金	298,404	312,280
転貸損失引当金	55,518	46,921
退職給付に係る負債	134,872	135,927
その他	73,034	77,454
固定負債合計	5,129,772	5,088,873
負債合計	8,305,802	7,672,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	118,258	349,347
自己株式	△68,830	△69,051
株主資本合計	5,769,074	5,999,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,946	7,162
その他の包括利益累計額合計	5,946	7,162
純資産合計	5,775,020	6,007,105
負債純資産合計	14,080,823	13,679,928

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,745,048	8,705,788
売上原価	3,092,145	3,125,640
売上総利益	5,652,903	5,580,148
販売費及び一般管理費	5,284,366	5,179,625
営業利益	368,536	400,522
営業外収益		
受取利息	15,765	15,138
受取配当金	1,067	1,116
受取地代家賃	5,293	5,163
貸倒引当金戻入額	343	358
その他	21,904	17,758
営業外収益合計	44,374	39,534
営業外費用		
支払利息	68,291	47,045
支払手数料	100,000	—
その他	9,720	4,561
営業外費用合計	178,011	51,607
経常利益	234,900	388,450
特別利益		
固定資産売却益	—	1,050
転貸損失引当金戻入額	—	8,189
受取保険金	3,924	216
債務免除益	361,663	—
特別利益合計	365,587	9,455
特別損失		
固定資産売却損	2,593	—
固定資産除却損	144	12,688
減損損失	21,858	5,202
賃貸借契約解約損	8,247	9,722
特別損失合計	32,842	27,612
税金等調整前四半期純利益	567,645	370,292
法人税、住民税及び事業税	234,590	135,414
法人税等調整額	6,952	3,788
法人税等合計	241,542	139,202
四半期純利益	326,102	231,089
親会社株主に帰属する四半期純利益	326,102	231,089

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	326,102	231,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,198	1,216
その他の包括利益合計	2,198	1,216
四半期包括利益	328,300	232,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	328,300	232,305

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	567,645	370,292
減価償却費	189,583	210,671
減損損失	21,858	5,202
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△343	△358
賞与引当金の増減額(△は減少)	△340	2,140
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,687	13,875
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△1,608	△14,357
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△125	1,055
受取利息及び受取配当金	△16,833	△16,254
支払利息	68,291	47,045
固定資産売却損益(△は益)	2,593	△1,050
受取保険金	△3,924	△216
債務免除益	△361,663	—
固定資産除却損	144	12,688
賃貸借契約解約損	8,247	9,722
売上債権の増減額(△は増加)	65,238	35,077
たな卸資産の増減額(△は増加)	△122,883	18,131
前渡金の増減額(△は増加)	△1,558	△1,744
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,450	△29,616
未払金の増減額(△は減少)	10,262	△1,409
未払消費税等の増減額(△は減少)	53,401	△110,427
未払費用の増減額(△は減少)	△43,199	△19,828
預り金の増減額(△は減少)	△78,143	△62,520
前受収益の増減額(△は減少)	△30,450	△28,850
その他	38,982	△6,589
小計	362,409	432,679
利息及び配当金の受取額	15,710	15,281
利息の支払額	△65,711	△47,344
保険金の受取額	3,924	216
店舗閉鎖に伴う支払額	△2,256	△675
法人税等の支払額	△179,339	△156,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	134,737	243,773

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	200,000
有形固定資産の取得による支出	△103,779	△296,570
有形固定資産の売却による収入	75,610	1,050
有形固定資産の除却による支出	—	△5,800
無形固定資産の取得による支出	△14,359	△21,660
投資有価証券の取得による支出	△9,966	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,420	—
敷金及び保証金の回収による収入	98,450	48,000
預り保証金の受入による収入	—	4,420
貸付金の回収による収入	2,487	2,516
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	9,485	1,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	56,508	△66,775
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,223,798	△80,000
長期借入れによる収入	5,135,000	266,000
長期借入金の返済による支出	△5,218,031	△544,586
割賦債務の返済による支出	△17,138	△36,153
リース債務の返済による支出	△14,288	△23,193
自己株式の取得による支出	△282	△220
その他	△6,040	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,344,579	△418,153
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,153,333	△241,155
現金及び現金同等物の期首残高	2,938,593	2,155,396
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,785,260	1,914,241

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,456,818	1,069,032	219,196	8,745,048	8,745,048	—	8,745,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,456,818	1,069,032	219,196	8,745,048	8,745,048	—	8,745,048
セグメント利益又は 損失(△)	536,031	127,496	△1,152	662,375	662,375	△293,838	368,536

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない全社資産について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては21,858千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,494,641	1,045,005	166,142	8,705,788	8,705,788	—	8,705,788
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,494,641	1,045,005	166,142	8,705,788	8,705,788	—	8,705,788
セグメント利益	579,910	105,484	10,838	696,234	696,234	△295,711	400,522

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては5,202千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。